

経営比較分析表

山口県 宇部市

業務名	業種名	事業名	資金不足比率 (%)
法適用	交通事業	自動車運送事業	-
営業路線 (km)	年間走行キロ (千km)	在籍車両数 (両)	職員数 (人)
224.3	3,010	81	123
管理の委託割合 (%)	民間事業者の有無	地域公共交通網形成計画策定の有無	
-	有	有	

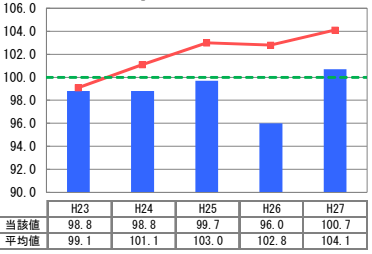
※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

	H23	H24	H25	H26	H27
年間輸送人員 (千人)	2,887	2,789	2,657	2,585	2,574
他会計負担額 (千円)	252,530	246,568	232,800	232,044	227,191

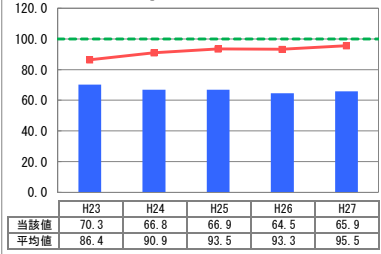
1. 経営の健全性

○事業の状況

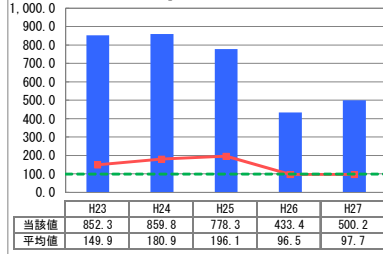
①経常収支比率 (%)



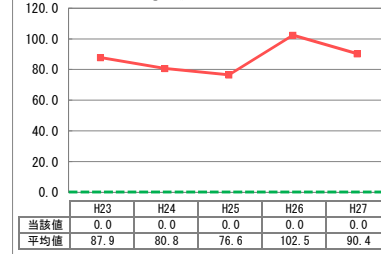
②営業収支比率 (%)



③流動比率 (%)

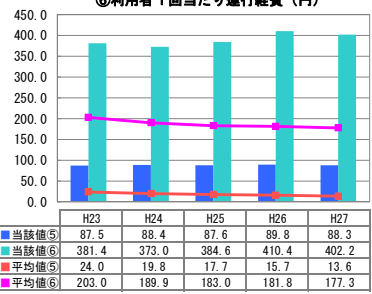


④累積欠損金比率 (%)

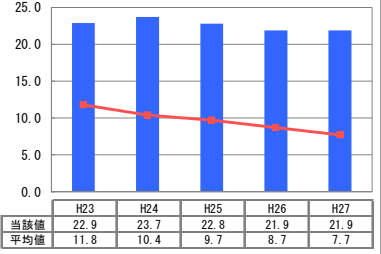


○独立採算の状況

⑤利用者1回当たり他会計負担額 (円)
⑥利用者1回当たり運行経費 (円)



⑦他会計負担比率 (%)

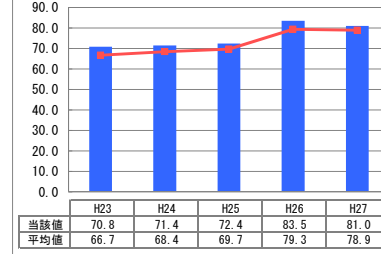


○資産及び負債の状況

⑧企業債務高対材料収入比率 (%)

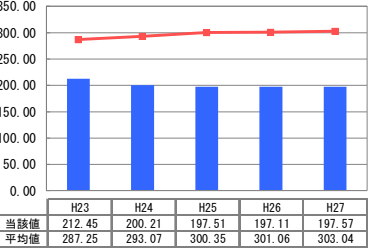


⑨有形固定資産減価償却率 (%)

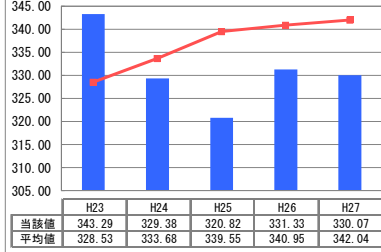


2. 経営の効率性

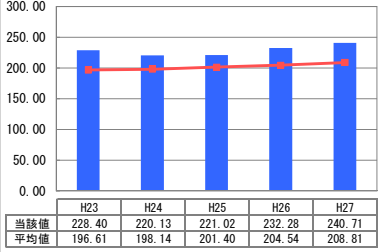
①走行キロ当たりの収入 (円)



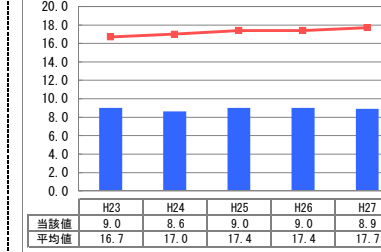
②走行キロ当たりの運送原価 (円)



③走行キロ当たりの人件費 (円)



④乗車効率 (%)



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

流動比率については、平成26年度の会計制度見直しにより大幅に低下したものの、依然として400%以上を保っており、十分な支払い能力を確保している。しかしながら、大型イベントが開催され、貸切自動車収入の増加により黒字となった平成27年度を除き、経常収支は赤字となっており、営業収支比率が低い水準で推移していることから、他会計負担比率が高くなっている。また、利便性の向上策としてバスロケーションシステム及びICカードの導入等の大型投資を計画しており、減価償却費の増加及び現金預金の減少により、収支比率及び流動比率がさらに悪化することが見込まれる。したがって、今後は経営の健全化のため、「宇部市地域公共交通網形成計画」及びこれに基づく「宇部市地域公共交通再編実施計画」を踏まえた路線再編による利便性の向上及び運行の効率化に引き続き取り組み、経常収支比率及び営業収支比率の改善を図る必要がある。

2. 経営の効率性について

走行キロ当たりの運送原価については、民間事業者に比べ低い水準を維持しているものの、走行キロ当たりの人件費については、民間事業者よりも高い水準で推移しており、給与の適正化等を検討する必要がある。また、走行キロ当たりの収入については、民間事業者と比較すると非常に低く、乗車効率も他団体に比べて低くなっている。したがって、引き続き「宇部市地域公共交通網形成計画」及びこれに基づく「宇部市地域公共交通再編実施計画」を踏まえた路線再編により利便性の向上を図りながら、乗車効率の改善及び収入の確保を図る必要がある。

全体総括

人口減少、少子高齢化の進展により、今後も輸送人員の減少が見込まれる中で、「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」を形成するため、引き続き「宇部市地域公共交通網形成計画」及びこれに基づく「宇部市地域公共交通再編実施計画」を踏まえた路線再編を進め、事業規模の適正化を図る必要がある。また、平成30年度を目途に策定を予定している経営戦略のなかで給与の適正化等による人件費の抑制など経費節減を進めるとともに、料金収入を確保するため運賃改定も検討する必要がある。